

## ■ 掲示板

### ■ 産業技術総合研究所計測標準研究部門研究職員の公募について

1. 募集職種：研究職員（任期の定めのない定年制の職員）
2. 採用予定人数：5名程度（計測標準研究部門全体で）
3. 配属予定ユニット：計測標準研究部門
4. 応募資格：  
以下2つの条件を満たすこと。  
○大学院修士修了（または見込み）以上  
○1984年(昭和59年)4月2日以降生まれの者  
※補足  
○新卒・既卒不問。但し、次のいずれかに該当する者を除く。  
・成年被後見人、被保佐人及び被補助人。  
・禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその刑の執行を受けることがなくなるまでの者。  
○日本国籍を有していない場合は、採用予定日までに日本国内に

- おける当研究所で就労するために必要な留資格を取得すること。
5. 主な職務内容：計測・計量標準分野に関する研究開発業務  
放射線・放射能標準に関する研究開発業務も含まれます。
  6. 採用予定日：原則として、平成27年4月1日
  7. 採用説明会スケジュール（随時更新）  
[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/humanres/03jimu/seminar.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/humanres/03jimu/seminar.html)
  8. 詳細：  
[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/humanres/02kenkyu/master.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/humanres/02kenkyu/master.html)
  9. 応募方法：  
[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/humanres/02kenkyu/master\\_apply.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/humanres/02kenkyu/master_apply.html)
  10. 問合せ先：齋藤則生  
E-mail： [aist-saiyo15-ml@aist.go.jp](mailto:aist-saiyo15-ml@aist.go.jp)  
Tel：029-861-5656

### ● 会誌オンライン利用方法に関するご案内 ●

編集委員長 木村昭夫  
渉外幹事 濱 広幸

オンライン会誌にアクセスするには、放射光学会のトップページにある会員専用ボタンをクリックし、会員専用ページにアクセスする必要があります。

会員専用ページにアクセスするためのユーザー ID とパスワードは

User ID : jsr271

Password : fsk5u2bG

です。このユーザー ID とパスワードは、次号が発行された後に失効します。

会員専用ページにある、学会誌「放射光」のオンライン閲覧をクリックして頂ければ、オンライン会誌を従来通りご覧頂くことができます。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また、記事の著作権は日本放射光学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

ホームページに関して問題等ございましたら、濱 ([hama@lns.tohoku.ac.jp](mailto:hama@lns.tohoku.ac.jp)) までご連絡下さい。オンライン会誌に関するご連絡は、木村 ([akiok@hiroshima-u.ac.jp](mailto:akiok@hiroshima-u.ac.jp)) までお願いします。

## ■行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2014年 3/26	未来を拓く高圧力科学技術セミナーシリーズ(39)「高圧力と分光測定技術」	日本大学文理学部世田谷キャンパス内 コンピューターセンター オーバル・ホール	日本高圧力学会 E-mail: seminar39@highpressure.jp	27・1

本欄では、研究会、シンポジウム、国際会議等のおしらせを募集しております。掲載ご希望の方は事務局までご連絡下さい。一記事の長さは1/2ページ以下を目安とし、様式は事務局で変更させて頂く場合がございます。

### ■未来を拓く高圧力科学技術セミナーシリーズ(39) 「高圧力と分光測定技術」

ラマン散乱、X線吸収などの分光法から得られるスペクトルは物質の電子状態、吸収原子周りの配位環境、格子振動といった複数の情報を含んでおり、分光法は物質科学にとって極めて利用価値の高い実験手法です。今日では高圧力科学においても分光測定は広く行われており、多くの成果が挙げられています。このことは高圧力特有の技術的な難しさを分光法においても研究者が克服し、測定技術を向上させてきた結果でもあります。また、分光法をX線回折等の実験と相補的に用いることで、決定的な研究成果になることも少なくありません。一方、分光法と一口いってもその手法は多様であり、放射光X線、可視光、赤外光など用いる光源によっても測定原理や得られる知見が異なります。そこで高圧力下の最先端の分光研究が俯瞰できる機会として、本セミナーを企画しました。このセミナーでは、6つの代表的な分光手法について第一線で研究されている先生方を講師としてお招きし、それぞれの測定原理・技術と研究成果を解説して頂きます。この機会を通じて、分光研究を計画中あるいは既に測定に着手されている研究者、ポスドク、学生、および企業の方々に対して有益な情報を提供できるものと考えております。多数の皆様方のご参加をお待ち申し上げます。

**主 催：**日本高圧力学会

**協 賛：**日本放射光学会、他

**日 時：**2014年3月26日(水) 13:00-17:30

**会 場：**日本大学文理学部世田谷キャンパス内  
コンピューターセンター オーバル・ホール  
(京王線 下高井戸駅または桜上水駅下車 徒歩8分)

**定 員：**最大160名

**参加費：**一般 3,000円、学生 1,000円

**申込期限：**2014年3月19日(水)

**申込方法：**

学会ホームページ (<http://www.highpressure.jp/activity/seminar/>)「参加申し込みフォーム」をご利用ください。あるいは、E-mail または Fax にて「セミナー(39)」と表記し、下記の「申込先」宛に必要な事項を明記してお申し込みください。なお、参加申し込みの状況によっては、当日受付にも対応いたします。(1)氏名 (2)勤務先・学校名 (3)連絡先住所 (4)電話・Fax・Email アドレス (5)送金方法・金額・送金日

**申込先：**日本高圧力学会 事務局

〒530-0001 大阪市北区梅田 1-11-4

大阪駅前第4ビル9階923-674号

株式会社ボラリス・セクレタリーズ・オフィス (内)

Tel: 070-5545-3188 Fax: 020-4665-8596/06-6345-7931

E-mail: seminar39@highpressure.jp

**世話人：**広島大学 大学院理学研究科物理科学専攻

石松直樹

〒739-8526 東広島市鏡山 1-3-1

Tel/Fax: 082-424-7361

E-mail: naoki@sci.hiroshima-u.ac.jp